

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	①世界自然遺産や自然公園の適正管理
			施策の小項目名	○世界自然遺産の保全と適正管理の推進
主な取組	地域社会との協働による遺産の管理体制の構築及び運営の支援		対応する成果指標	世界自然遺産登録の更新
施策の方向	・固有性の高い生態系と世界的に見ても生物多様性の保全上重要な地域である沖縄島北部及び西表島の世界自然遺産登録地においては、その普遍的価値を維持できるよう、鹿児島県の奄美大島、徳之島とともに、自然環境の保全体制の構築及び適正な観光管理に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
世界自然遺産地域沖縄島北部及び西表島において、地域の関係者が参画する地域部会を開催するとともに、地域別行動計画の進捗状況を検証し、必要に応じ見直し等を行う。	県	地域部会の開催、行動計画の検証等			
		行動計画の検証・見直しを行うための会議の開催数(累計)			
		2回	2回(4回)	2回(6回)	
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課		【 098-866-2418 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	世界自然遺産管理運営支援業務			予算事業名	世界自然遺産管理運営支援業務	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	12,390	36,960	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	35,217
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄島北部及び西表島において、地域部会を各2回開催し、地域別行動計画の進捗状況等を確認したほか、要請事項についての対応を協議した。				沖縄島北部及び西表島において、地域部会を各2回程度開催し、地域別行動計画の検証や、必要に応じて要請事項についての対応を協議する。		

活動指標名	行動計画の検証・見直しを行うための会議の開催数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	2回	2回	2回	2回	100.0%	順調	沖縄島北部及び西表島において、地域部会を各2回開催し、地域別行動計画の進捗状況等を確認するほか、世界遺産委員会からの要請事項について対応を協議した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

各地域部会を2回開催し、行動計画の検証・見直しを行うことができた。また、令和4年度は世界遺産委員会からの要請事項に対する保全状況報告書について地域関係者と協議し、合意形成したうえで提出することができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
観光管理に関する世界遺産委員会決議への対応として、観光管理作業部会を設置し、西表島の観光に関わる各種構想・計画・制度等を統合する形で「持続可能な西表島のための来訪者管理基本計画」を改定する。	観光管理作業部会を2回開催し、西表島の観光に関わる各種構想・計画・制度等を統合する形で「持続可能な西表島のための来訪者管理基本計画」を改定し、「西表島観光管理計画」を策定した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	世界遺産委員会による保全状況報告書の審議の結果、さらなる対応などを追加で求められる可能性があるため、必要に応じて対応を検討する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	世界遺産委員会からの求めに応じて、4つの要請事項「適切な観光管理」、「希少種の交通事故対策」、「包括的な河川再生戦略の策定」、「緩衝地帯における森林伐採の適切な管理」に関する取組を強化する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	①世界自然遺産や自然公園の適正管理
			施策の小項目名	○世界自然遺産の保全と適正管理の推進
主な取組	国、教育機関、研究機関等と連携したモニタリング調査の実施		対応する成果指標	世界自然遺産登録の更新
施策の方向	・固有性の高い生態系と世界的に見ても生物多様性の保全上重要な地域である沖縄島北部及び西表島の世界自然遺産登録地においては、その普遍的価値を維持できるよう、鹿児島県の奄美大島、徳之島とともに、自然環境の保全体制の構築及び適正な観光管理に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
世界自然遺産地域モニタリング計画に基づき、国、県、研究機関等により遺産価値の維持管理に係るモニタリング調査を行う。	県	世界自然遺産登録地の保全状況の適切な把握及び評価			
		世界自然遺産地域モニタリング計画に基づくモニタリング調査の実施数(調査項目)(累計)			
		北部15項目、西表11項目	北部15項目(30項目)、西表11項目(22項目)	北部15項目(45項目)、西表11項目(33項目)	
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課		【 098-866-2418 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	世界自然遺産保全・適正利用推進事業			予算事業名	世界自然遺産保全・適正利用推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	252,925	371,620	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	336,272
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>国、県等により遺産価値に係るモニタリングを行った。県では、世界自然遺産保全・適正利用推進事業等において、外来種の生息状況等を調査した。</p>				<p>国、県等により遺産価値に係るモニタリングを行う。県では、世界自然遺産保全・適正利用推進事業等において、外来種の生息状況等を調査する。</p>		

活動指標名	世界自然遺産地域モニタリング計画に基づくモニタリング調査の実施数(調査項目)(累計)					進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		15項目	15項目	15項目	北部15項目	100.0%	順調
活動指標名	世界自然遺産地域モニタリング計画に基づくモニタリング調査の実施数(調査項目)(累計)						
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	11項目	11項目	11項目	西表11項目	100.0%		

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
関係機関が連携し、遺産価値のモニタリング指標に係る調査項目について、モニタリングを行い定量的及び定性的評価を行うことができた。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
実効的な遺産の維持管理につなげるため、モニタリング計画の評価結果を、遺産の保全管理のために策定された地域別の行動計画の各種取組の評価にも活用する。	令和4年度の地域別の行動計画の管理成果について、モニタリング計画の評価結果を活用し、試行的に評価を行うことができた。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	観光利用に係る項目などについて一部未評価の項目があるため、引き続きエコツアー利用場所、利用状況のトレンド及び観光形態把握を行う。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	効果的・効率的な観光利用に係るモニタリング手法・体制を検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	①世界自然遺産や自然公園の適正管理
			施策の小項目名	○世界自然遺産の普及啓発・人材育成
主な取組	県民や観光客への生物多様性の保全やマナー・ルールの啓発		対応する成果指標	世界自然遺産登録の更新
施策の方向	<p>・地域住民を含めた県民や観光客に対する生物多様性の保全やマナー・ルールについて、県内外の観光事業者等と連携し、空港、港湾、地域の観光拠点のみならず、インターネットも活用しながら、啓発に取り組みます。さらに、国、教育機関、研究機関等と連携し、モニタリングや科学的な管理の基盤整備、自然環境の保全管理等の担い手としての若い世代や地域の人材育成を促進するとともに、世界自然遺産の次世代への継承を目的とした児童生徒への啓発に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>世界自然遺産地域の貴重な自然環境を次世代へ継承するために、県民や観光客の遺産価値の理解や保全意識の醸成を図ることを目的として、ホームページの制作、普及啓発イベントの開催、世界自然遺産大使の活用を行う。</p>	県	県民や観光客への生物多様性の保全やマナー・ルールの啓発		
		観光施設等でのマナー・ルールブックの配布、電子化		
		26施設以上で配布	電子化による発信	コンテンツの充実
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2418 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	世界自然遺産普及啓発事業			予算事業名	世界自然遺産普及啓発事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	50,001	29,102	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	23,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県民及び観光客を対象としたホームページの制作、普及啓発イベントの開催、世界自然遺産大使の活用（トークセッション）				地域児童を対象とした図画コンクールの開催や、県民及び観光客を対象とした普及啓発イベントの開催、ホームページの拡充		

活動指標名	観光施設等でのマナー・ルールブックの配布、電子化		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	26施設以上で配布	26施設以上で配布	100.0%	順調	感染症対策のための行動制限の緩和や経済刺激策による沖縄への訪問客の急激な増加に伴い、遺産地域へ急激な環境負荷が生じるおそれがあったため、R5に予定していた新たなHP制作を前倒してR4に実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県民及び観光客へ世界自然遺産の概要や価値を伝えるためのホームページを制作した。また普及啓発イベントとして、図画コンクールの表彰式、世界自然遺産大使の任命式、多様な主体（県、世界自然遺産大使、民間企業・団体、地元高校生）によるトークセッションを開催した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	世界自然遺産の概要や価値の理解醸成を図るため、地域児童を対象とした図画コンクールの開催、県民や観光客への情報発信強化を目的としてホームページの制作を行った。また世界自然遺産について広くPRすることを図るため、普及啓発イベントとして、図画コンクールの表彰式、公共交通機関への入賞作品のラッピングお披露目式、多様な主体（県、世界自然遺産大使、民間企業・団体、地元高校生）によるトークセッションを行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	県内外へ広く世界自然遺産の価値を普及啓発し、環境保全意識の醸成に取り組む必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	図画コンクールや環境学習の開催、その他県等の取り組みを継続して情報発信する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	①世界自然遺産や自然公園の適正管理
			施策の小項目名	○世界自然遺産の普及啓発・人材育成
主な取組	児童生徒への啓発		対応する成果指標	世界自然遺産登録の更新
施策の方向	<p>・地域住民を含めた県民や観光客に対する生物多様性の保全やマナー・ルールについて、県内外の観光事業者等と連携し、空港、港湾、地域の観光拠点のみならず、インターネットも活用しながら、啓発に取り組みます。さらに、国、教育機関、研究機関等と連携し、モニタリングや科学的な管理の基盤整備、自然環境の保全管理等の担い手としての若い世代や地域の人材育成を促進するとともに、世界自然遺産の次世代への継承を目的とした児童生徒への啓発に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
世界自然遺産地域の貴重な自然環境を次世代へ継承するために、登録地域児童の遺産価値の理解や保全意識の醸成を図ることを目的として、図画コンクール及び環境学習を開催する。	県	地元小中学校への環境教育の実施			
		フィールド観察会の開催数(累計)			
		4回	4回(8回)	4回(12回)	
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課		【 098-866-2418 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	世界自然遺産普及啓発事業			予算事業名	世界自然遺産普及啓発事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	50,001	29,102	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	23,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄島北部3村及び西表島の児童を対象とした、図画コンクール及び地域団体と連携した登録地域における環境学習を開催する。				北部圏域及び八重山圏域の児童を対象とした、図画コンクール及び地域団体と連携した登録地域における環境学習を開催する。		

活動指標名	フィールド観察会の開催数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	2回	4回	50.0%	概ね順調	沖縄島北部及び西表島にて、フィールド観察会を各1回開催した(合計2回)。 加えて、より深い理解を促進するため、前日に事前学習会を各1回実施した。(合計2回)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

世界自然遺産地域の貴重な自然環境を次世代へ継承するため、沖縄島北部3村及び西表島の児童生徒を対象とした環境学習として、沖縄島北部地域及び西表島地域にて、フィールド観察会の開催に加え、より深い理解を促進するため事前学習会を実施し、自然の雄大さを感じる体験や遺産価値や保全意識の向上を図ることができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	R3に世界自然遺産に登録されたことから、対象地域に住む児童を対象に、登録地域の自然環境の素晴らしさを理解し、肌で感じてもらうために、図画コンクール及び環境学習を開催した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	対象を広げることで、広く県民に世界自然遺産の価値を普及啓発していく必要がある。	⑧ その他	参加者を従来の登録地域から、登録地域を含む圏域へ広げる。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	①世界自然遺産や自然公園の適正管理
			施策の小項目名	○自然保護地域の適正な地域指定・管理
主な取組	自然公園区域等の見直し (伊良部県立自然公園)		対応する成果指標	世界自然遺産登録の更新
施策の方向	・自然保護地域については、自然環境保全地域、自然公園、鳥獣保護区など、それぞれの区域拡大を含めた適正な地域指定・管理及び利用促進に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
伊良部県立自然公園を取り巻く自然的、社会的条件が変化していることから、自然公園区域等の見直しを行う。	県	自然公園の区域等について、自然的・社会的条件の変化に応じた見直しの実施		
		伊良部県立自然公園区域等の見直し		
		地域の現況調査及び意向確認等	関係機関調整、地元説明等	変更計画原案作成、意見照会等
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2418 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	伊良部県立自然公園見直し事業口			予算事業名	伊良部県立自然公園見直し事業口	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	2,167	2,197	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	2,384
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
伊良部自然公園の現況や開発動向について基礎情報を整理し、現地踏査により自然状況の概要を把握した。				過年度の現地踏査を踏まえて、現地調査を実施し、詳細な公園資質について把握する。		

活動指標名	伊良部県立自然公園区域等の見直し		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	地域の現況調査及び現地踏査	地域の現況調査及び意向確認等	75.0%	概ね順調	伊良部自然公園の現況や開発動向について基礎情報を整理し、現地踏査により自然状況の概要を把握した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
地域の意向確認に至らなかったが、現況や開発動向について基礎情報を整理し、現地踏査により自然状況の概要を把握できたため、概ね順調とした。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
—	今後の取組が円滑になるよう、自然公園の現況や開発動向について基礎情報を整理し、現地踏査により自然状況の概要を把握する中で課題を抽出した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	自然的、社会的条件の変化を的確に捉え、見直しに反映する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	自然的、社会的条件の変化を的確に捉えるため、十分な調査、地域の意向確認を行い、有識者等の意見も踏まえて見直し作業を進める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	①世界自然遺産や自然公園の適正管理
			施策の小項目名	○自然保護地域の適正な地域指定・管理
主な取組	自然公園区域等の見直し（沖縄戦跡国定公園）		対応する成果指標	世界自然遺産登録の更新
施策の方向	・自然保護地域については、自然環境保全地域、自然公園、鳥獣保護区など、それぞれの区域拡大を含めた適正な地域指定・管理及び利用促進に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄戦跡国定公園を取り巻く自然的、社会的条件が変化していることから、自然公園区域等の見直しを行う。	県	自然公園の区域等について、自然的・社会的条件の変化に応じた見直しの実施		
		沖縄戦跡国定公園区域等の見直し		
		情報収集、有識者ヒアリング等	地域の現況調査及び意向確認等	関係機関調整、地元説明等
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2418 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄戦跡国立公園見直し事業			予算事業名	沖縄戦跡国立公園見直し事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託		4,045	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	8,425
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
既存文献の調査による情報収集、自然公園の利用状況の把握のため観光ガイドへのヒアリング等を実施した。				既存文献の調査の補完（現地踏査、必要に応じて環境調査）、地域の意向確認、基本方針の検討等を実施する。		

活動指標名	沖縄戦跡国立公園区域等の見直し		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	情報収集、有識者ヒアリング等	情報収集、有識者ヒアリング等	90.0%	順調	既存文献の調査による情報収集、自然公園の利用状況の把握のため観光ガイドへのヒアリング等を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

既存文献の調査による情報収集、自然公園の利用状況の把握のため観光ガイドへのヒアリング等を実施したことから進捗状況を順調とした。この取り組みにより、令和5年度の活動計画に円滑に繋げることができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	今後の取組が円滑になるよう、既存文献の調査による情報収集、自然公園の利用状況の把握のため観光ガイドへのヒアリング等の活動を実施する中で課題を抽出した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	自然的、社会的条件の変化を的確に捉え、見直しに反映する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	自然的、社会的条件の変化を的確に捉えるため、十分な調査、地域の意向確認を行い、有識者等の意見も踏まえて見直し作業を進める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	①世界自然遺産や自然公園の適正管理
			施策の小項目名	○自然保護地域の適正な地域指定・管理
主な取組	鳥獣保護区の指定		対応する成果指標	世界自然遺産登録の更新
施策の方向	・自然保護地域については、自然環境保全地域、自然公園、鳥獣保護区など、それぞれの区域拡大を含めた適正な地域指定・管理及び利用促進に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
<p>本県に生息、飛来等する鳥獣の保護を図り、本県の生物多様性の保全に寄与することを目的に、鳥獣の保護のために必要と認められる地域について鳥獣保護区等に指定し、管理を行う。</p>	<p>県</p>	鳥獣保護区の新規指定及び更新、特別保護地区の新規指定及び再指定			
		鳥獣保護区の新規指定、更新箇所数(累計)			
		新規指定、更新手続きに向けた整理作業	2箇所	1箇所(3箇所)	
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課		【 098-866-2418 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	直接実施			主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施			県単等	直接実施	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
鳥獣保護管理員を活用して既存の鳥獣保護区の管理や保護区指定候補地の調査等を行うとともに、関係機関と意見交換を継続して取り組んだ。				既存の鳥獣保護区の管理を行うとともに、第13次鳥獣保護管理計画の保護区指定候補地の調整を進めるため、意見交換や調査等を実施する。		

活動指標名	鳥獣保護区の新規指定、更新箇所数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	27地区	27地区	27地区	新規指定、更新手続きに向けた整理作業	79.4%	概ね順調	鳥獣保護区等候補地において、地元市町村及び関係者等と意見交換等に取り組んだ。また、既存の鳥獣保護区等において、鳥類の生息数調査の実施や、鳥獣保護管理員と連携しながら、鳥獣保護区の管理に取り組んだ。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和4年度までに、鳥獣保護区の新規指定まで至っていないが、地元市町村等と意見交換等を重ねているところである。指定計画については、賛否両論あることから、意見が十分に反映されるよう、慎重に取り組みを進めている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 鳥獣保護区の新規指定にあたり、関係者からの賛成意見のみならず反対意見についても精査し、必要な対応を検討しながら取り組んでいく。 指定区域における鳥獣保護の推進にあたっては、地域毎に、指定による効果などについても幅広く検討を行う。 鳥獣保護区等の新規指定や管理にあたっては、鳥獣保護管理員等と連携しながら最新の生息状況に関する情報収集に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 鳥獣保護区等の指定にあたっては、地元市町村等にその趣旨を十分に理解してもらい、その上で賛否の判断を仰ぐこととし、賛成意見のみならず、反対意見についても精査し、必要な対応を検討しながら、推進を図った。 既存の鳥獣保護区等については、鳥獣保護管理員等の取り組みにより、管理を図った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	自然環境の変化や指定に対する県民ニーズの変化があることを念頭に、市町村等関係機関からの意見を十分に把握し、慎重に取り組んでいかなければならない。	② 連携の強化・改善	市町村等関係機関意見を慎重に聞き取り、精査して、必要な対応を検討する。
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	鳥獣保護区の新規指定にあたり、鳥獣に関する最新の情報を持ち合わせる必要がある。	① 執行体制の改善	新規指定の地区について、鳥獣保護管理員等と連携しながら最新の情報を収集する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	①世界自然遺産や自然公園の適正管理
			施策の小項目名	○自然公園施設の適正管理と利用増進
主な取組	自然公園施設の整備		対応する成果指標	世界自然遺産登録の更新
施策の方向	・自然公園施設の適正な管理及び利用増進については、既存施設の計画的かつ効率的な修繕や更新など効果的な施設整備に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
自然公園の利用増進と適正利用を図るため、自然公園施設の整備を行う。	県	自然公園の利用促進、県民の保健、休養、教化に資する休憩所や公衆トイレ等の施設整備		
		自然公園施設整備に係る取組		
		設計業務・関係機関協議	施設整備	設計業務・関係機関協議
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2418 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	自然公園施設整備事業費 (補助事業)			予算事業名	自然公園施設整備事業費 (補助事業)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ハード)	直接実施	30,952	2,967	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ハード)	直接実施	49,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>沖縄戦跡国定公園 (大度園地) の公衆トイレ及び休憩所の建築設計を実施した。</p>				<p>沖縄戦跡国定公園 (大度園地) の休憩所の建築工事を実施する。また、沖縄海岸国定公園 (運天森園地) の休憩所の建築設計を実施する。</p>		
予算事業名	自然公園施設整備事業費 (単独事業)			予算事業名	自然公園施設整備事業費 (単独事業)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	直接実施	28,727		主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	直接実施	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
—				—		

活動指標名	自然公園施設整備に係る取組		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	施設整備	設計業務・関係機関協議	設計業務・関係機関協議	100.0%	順調	沖縄戦跡国定公園 (大度園地) の公衆トイレ及び休憩所の建築設計を実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>沖縄戦跡国定公園（大度園地）の公衆トイレ及び休憩所の建築設計を実施したことから進捗状況を順調とした。休憩所の建築設計については、関係機関（土木建築部施設建築課）と協議し、前倒しで取り組むことができた。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・技術者不足及び市場単価との乖離による入札不調・不落を解消するため、年度当初に発注するように努め、複数回の入札対応可能な期間を確保する。 ・建設資材等の価格乖離を解消するため、見積書の取り直しを行うなど、直近の市場動向を反映した価格を採用する。 	<p>令和4年度は随意契約による建築設計の実施であり取組改善案の反映はないが、今後の工事発注において取組改善案の反映に取り組む。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	設計業務や施設整備の執行にあたっては、関係機関（土木建築部施設建築課）との連携が必要となる。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	発注時や履行中の課題等について、関係機関（土木建築部施設建築課）と連携して課題解決にあたり、円滑な執行に努める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	②希少野生動植物種や沖縄固有種の保護対策、外来生物対策の推進
			施策の小項目名	○希少野生動植物の生態、生息域、個体数の現状把握、脅威となる外来種の防除
主な取組	指定希少野生動植物種のモニタリング		対応する成果指標	重点対策種等の排除・根絶地域数
施策の方向	・県内に生息する希少生物種の生態、生息域、個体数等の現状を的確に把握するとともに、増減の原因等の分析を行い、効果的な保護対策に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内に生息・生育する希少な野生動植物の保護を図るため、沖縄県希少野生動植物保護条例の運用や普及啓発、希少種のモニタリング調査、検討委員会の開催等を実施する。	県	モニタリングの実施、外来種による希少種への影響の確認		
		指定希少野生動植物種のモニタリング地点数(累計)		
		30地点	30地点(60地点)	30地点(90地点)
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2418 】	関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/shiteisyu.htm

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	希少野生生物保護推進事業			予算事業名	希少野生生物保護推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	18,928	18,373	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	12,581
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>沖縄県希少野生動植物保護条例に基づく指定希少野生動植物種や指定外来種のモニタリング、普及啓発、検討委員会の開催等を実施した。</p>				<p>モニタリング調査や普及啓発、検討委員会開催等に取り組むとともに、指定希少野生動植物の保護増殖事業の実施を検討し、保護増殖事業計画を策定する。</p>		

活動指標名	指定希少野生動植物種のモニタリング地点数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-地点	-地点	18地点	30地点	60.0%	やや遅れ	希少野生生物保護推進事業において、指定希少野生動植物種のモニタリング調査を沖縄島、宮古島、多良間島など18地点で実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>目標値に対し、達成割合が60.0%であったことから、進捗状況を「やや遅れ」とした。その要因としては、ヤエヤマドボタルなどの外来種について、緊急的な捕獲および調査を実施したことから、当初予定していた指定希少野生動植物種のモニタリング調査を実施できなかったことが挙げられる。一方で、本取組により、オキナワヤマタカマイマイなどの指定希少野生動植物種の生息・生育状況を把握できた。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>指定希少野生動植物種について、専門家の意見を踏まえ、具体的な保護策の検討や、生息等環境の保全に向けて取り組む。</p>	<p>検討委員会を2回開催し、追加指定候補種の検討やモニタリング計画等に関して専門家からの意見が得られた。また、具体的な保護策の検討として、指定希少野生動植物種のうちナゴランなど3種について保護増殖事業実施方針を策定した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	指定希少野生動植物種のモニタリング調査について、計画的に実施する必要がある。
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	現時点で指定希少野生動植物種が47種指定されているが、指定された種については、保護増殖事業の実施など保護対策の検討が必要である。
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	条例の規制や指定希少野生動植物種について、県民に広く周知する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	指定希少野生動植物種のモニタリング調査については、検討委員会における専門家の意見を踏まえ、あらかじめ具体的な調査計画を策定する。また、調査に必要な予算の確保に努める。
① 執行体制の改善	指定希少野生動植物種のうち現時点でナゴランなど3種について保護増殖事業実施方針を策定しているが、事業実施に向け、専門家の意見を踏まえ、保護増殖事業計画を策定する。
⑤ 情報発信等の強化・改善	指定希少野生動植物種に関して、パンフレットの配布やホームページでの周知、イベントでの展示など情報発信に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	②希少野生動植物種や沖縄固有種の保護対策、外来生物対策の推進
			施策の小項目名	○希少野生動植物の生態、生息域、個体数の現状把握、脅威となる外来種の防除
主な取組	野生鳥獣等生息状況調査		対応する成果指標	重点対策種等の排除・根絶地域数
施策の方向	・県内に生息する希少生物種の生態、生息域、個体数等の現状を的確に把握するとともに、増減の原因等の分析を行い、効果的な保護対策に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本県に生息している野生鳥獣等の生息状況(生息域、個体数等)を把握するために、新規指定候補地及び既存の鳥獣保護区において調査を実施する。	県	鳥獣保護区指定のために必要な鳥獣の生息状況と生息環境把握のための調査		
		調査実施保護区における調査数(内訳)		
		5地域(新規1地域、継続4地域、累計5地域)	5地域(継続5地域)	5地域(継続5地域)
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2418 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	鳥獣保護行政費			予算事業名	鳥獣保護行政費	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	直接実施	7,232	7,755	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	直接実施	11,500
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
既存の鳥獣保護区の管理や、鳥獣保護管理員を活用し、第13次鳥獣保護管理計画に示す鳥獣保護区候補地等における鳥獣の生息状況調査を行った。				引き続き、鳥獣保護管理員を活用して保護区指定候補地の鳥獣生息状況調査を行う。		

活動指標名	調査実施保護区における調査数 (内訳)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	4地域	4地域	5地域	5地域 <small>(新規1地域、継続4地域、累計5地域)</small>	100.0%	順調	鳥獣保護管理員を活用して保護区指定候補地の鳥獣生息状況調査等を行うとともに、保護区指定候補地の視察を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和4年度までに、保護区指定候補地の5地区すべてで鳥獣保護管理員を配置させることができ、鳥獣生息状況調査の進捗状況は順調である。引き続き鳥獣保護区への指定に向けた関係機関等の調整を進めるとともに、必要に応じて、鳥獣生息状況調査等の実施により、鳥獣の実態把握に務めることとする。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
鳥獣保護区等の新規指定や管理にあたり、鳥獣保護管理員等と連携しながら最新の生息状況に関する情報収集に努める。	鳥獣保護区の指定にあたっては、地元市町村等にその趣旨を十分に理解してもらい、その上で賛否の判断を仰ぐこととし、賛成意見のみならず、反対意見についても精査し、必要な対応を検討しながら、推進を図った。 既存の鳥獣保護区等においては、鳥獣保護管理員等の取り組みにより、管理を図った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	現在、鳥獣保護区等の新規指定に取り組んでいる自治体は少なく、本県でも平成25年度以降、新規指定は行っていない。鳥獣保護区等の指定等にあたり、最新の生息状況について情報収集を行う必要がある。	② 連携の強化・改善	鳥獣保護区等の新規指定にあたり、最新の生息状況に関する情報収集に努める必要がある。 既存の鳥獣保護区等にあたり、鳥獣保護管理員等と連携し継続的に生息状況に関する調査を実施する必要がある。
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	鳥獣保護区の指定にあたり、第13次鳥獣保護管理事業計画に基づき取り組んでいくこととしているが、自然環境や指定に対する県民のニーズに、変化があることを念頭に、慎重に取り組んでいく必要がある。		

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	②希少野生動植物種や沖縄固有種の保護対策、外来生物対策の推進
			施策の小項目名	○希少野生動植物の生態、生息域、個体数の現状把握、脅威となる外来種の防除
主な取組	レッドデータおきなわの改訂		対応する成果指標	重点対策種等の排除・根絶地域数
施策の方向	・県内に生息する希少生物種の生態、生息域、個体数等の現状を的確に把握するとともに、増減の原因等の分析を行い、効果的な保護対策に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
平成28、29年度発刊の第3版レッドデータブックについて、令和7年度に動物版、令和8年度に植物版の発刊を目指し、令和4年度から8年度の5年間で、文献調査や現地調査の実施、各種委員会の開催により、改訂作業を進める。	県	改訂作業(文献調査・現地調査、各種委員会の開催)の実施		
		現地調査の実施数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2418 】	関連URL	https://www.okinawa-ikimono.com/reddata/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県版レッドデータブック改訂業務			予算事業名	沖縄県版レッドデータブック改訂業務	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託		9,523	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	13,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
改訂委員会と編集委員会を編成・開催し、改訂方針を定めた。また、各生物分類群の分科会委員を選任し、希少種の現地調査を実施した。				引き続き編集委員会を開催し、編集方針を策定する。また、各分科会による文献調査や現地調査等の改訂作業を進める。		

活動指標名	現地調査の実施数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	1回	1回	100.0%	順調	掲載種の評価作業及び執筆等の作成実務を担当する13分科会の委員を選任し、うち1つの分科会(蘚苔類)において、現地調査を1回実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

5カ年計画の初年度において、本改訂に関する各種委員会を編成・開催し、改訂方針の策定や、希少種の生息・生育状況に係る現地調査にも着手できたことから、進捗状況は順調とした。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
各分科会がスムーズに現地調査を実施できるよう、調査員の身分証明証の作成や、関係者との事前調整や許可申請等の手続きを速やかに行う。	調査員の身分証明証の作成や、関係者との事前調整や許可申請等の手続きを速やかに行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	改訂委員会からの提案により、本改訂から新たに、サンゴ類の分科会が追加されたことや、保全が必要な生息地・生育地を選定して示すことが、改訂方針において決定したため、執行体制の増強が求められる。



4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	新たな評価対象の検討及び調査にかかる執行体制の強化や、費用増に対応する予算確保に努める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	②希少野生動植物種や沖縄固有種の保護対策、外来生物対策の推進
			施策の小項目名	○希少野生動植物の生態、生息域、個体数の現状把握、脅威となる外来種の防除
主な取組	沖縄島北部における希少種の回復実態調査の実施		対応する成果指標	重点対策種等の排除・根絶地域数
施策の方向	・県内に生息する希少生物種の生態、生息域、個体数等の現状を的確に把握するとともに、増減の原因等の分析を行い、効果的な保護対策に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄島北部におけるマングース対策等の効果による希少種の回復実態を把握するため、ヤンバルクイナ等希少種の分布状況調査を実施する。	県	マングース対策の一環として、ヤンバルクイナやノグチゲラ等の分布状況調査の実施		
		希少種回復実態調査の実施種数(内訳)		
		6種(継続6種)	6種(継続6種)	6種(継続6種)
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2418 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	マングース対策事業			予算事業名	マングース対策事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	97,074	138,279	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	138,569
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
やんばる地域に生息する希少な鳥類・哺乳類・両生類・爬虫類の回復実態を把握するため、定点観察、自動撮影カメラ等により、生息状況調査を行った。				やんばる地域において、定点観察、自動撮影カメラ等により、その地域に生息する希少な鳥類・哺乳類・両生類・爬虫類の生息状況調査を行う。		

活動指標名	希少種回復実態調査の実施種数 (内訳)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		9種	9種	12種	6種(継続6種)	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値6種に対して実績値12種であり、目標を達成したことから取組は順調に進捗している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
平成29年度に作成した調査方針(調査対象種、調査サイクル等)に基づき、希少種回復実態調査を実施し、その実績を踏まえながら取り組みの改善を実施していく。	両生類・爬虫類の調査については、現地検討会を開催し、調査ルートの評価・見直しを実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	希少種の回復実態を把握するためには、長期間継続してモニタリングを実施する必要がある。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	世界自然遺産の登録により、今後も遺産価値の維持・向上が重要であり、より一層、マングース等外来種対策に取り組む必要がある。



4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	限られた予算の範囲で調査対象種の選定や調査サイクル等の検討を行い、効率的に調査を実施していく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	②希少野生動植物種や沖縄固有種の保護対策、外来生物対策の推進
			施策の小項目名	○希少生物種のロードキルの防止
主な取組	イリオモテヤマネコ等の交通事故の防止		対応する成果指標	重点対策種等の排除・根絶地域数
施策の方向	・アンダーパスの設置や側溝改良、ゼブラ舗装等によるイリオモテヤマネコやヤンバルクイナ等の希少生物種のロードキルを防止するとともに、橋梁など道路構造の改良についての検討に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
希少生物種であるイリオモテヤマネコ等の交通事故を防止するため、イリオモテヤマネコが道路上を横断せずに移動できるアンダーパス設置の検討や、ドライバーへの普及啓発等に取り組む。	県	交通事故防止対策の取組の推進		
		モニタリング、検討会の開催、工法・候補地の検討(アンダーパスの設置)		
		モニタリング及び工事施工場所の検討	実施設計	設置工事の実施
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2418 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名 イリオモテヤマネコ交通事故防止対策事業					予算事業名 イリオモテヤマネコ交通事故防止対策事業			
主な財源		実施方法		R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		R5年度	
一括交付金 (ソフト)		委託		15,641	89,995		主な財源 実施方法 当初予算額	
							一括交付金 (ソフト) 委託 64,262	
令和4年度活動内容					令和5年度活動計画			
交通実態調査、住民や観光客へのアンケート調査、イリオモテヤマネコ目撃情報収集システムの拡充、普及啓発、有識者検討委員会の開催などを実施した。					交通実態調査、観光客アンケート調査、ヤマネコ目撃情報収集システムの拡充、普及啓発、アンダーパス設置に向けた基本計画案の策定を行う。			
活動指標名	モニタリング、検討会の開催、工法・候補地の検討（アンダーパスの設置）		R4年度			進捗状況	活動概要	
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		現在までの取組に関するモニタリングや、有識者検討委員会の開催、実地調査による工法・候補地の検討を行った。	
	世界遺産登録に向けた取組の実施	世界遺産登録に向けた取組の実施	実態調査、検討会等の実施	モニタリング及び工事施工場所の検討	60.0%	やや遅れ		

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和5年度に実施設計を行うこととしているが、工法・候補地の検討に時間を要していることから、やや遅れとした。一方、普及啓発や目撃情報収集システムの拡充などを行い、イリオモテヤマネコの交通事故件数は令和3年(暦年)の5件から令和4年は4件となり、1件減少した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>・ユネスコ世界遺産委員会から対応を求められている「希少種の交通事故対策」や「西表島の適切な観光管理」の実現に向けて取組を強化する。 ①西表島西部地区においてイリオモテヤマネコの、沖縄島北部においてヤンバルクイナなどの希少種の交通事故対策を強化</p>	<p>西表島西部地区におけるイリオモテヤマネコの交通事故対策を行うため、実態調査を行うとともに、普及啓発の実施、目撃情報収集システムの拡充を行うなど、対策の強化を図った。また、沖縄島北部におけるヤンバルクイナ等の交通事故対策として、道路沿いの視距改善のため、効果的な除草手法などの検討を行った。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	西表島における交通実態やイリオモテヤマネコの出現状況を詳細に分析し、関係機関と連携し効果的な対策を検討する必要がある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	沖縄島北部におけるヤンバルクイナ等の交通事故対策として、関係機関と連携し、引き続き効果的な除草手法などを検討する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑦ 取組の時期・対象の改善	西表島における交通実態やイリオモテヤマネコの出現状況を詳細に分析し、関係機関と連携し効果的な対策を検討し、計画案の作成を行う。
⑦ 取組の時期・対象の改善	沖縄島北部におけるヤンバルクイナ等の交通事故対策として、関係機関と連携し、効果的な除草手法の検討結果等を踏まえ、除草の取組やロードキル対策防止の普及啓発を実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	②希少野生動植物種や沖縄固有種の保護対策、外来生物対策の推進
			施策の小項目名	○外来種の駆除並びに侵入・定着防止、飼い犬・飼い猫の野生化防止対策の強化
主な取組	重点対策種の防除実施		対応する成果指標	重点対策種等の排除・根絶地域数
施策の方向	・外来種の生息状況や外来種による被害状況等の調査を実施し、調査結果に基づく効果的な捕獲手法の実践等を通して、マングース等の外来種の駆除並びに侵入及び定着の防止を推進するとともに、ノイヌ・ノネコの捕獲と併せて、飼い犬・飼い猫の野生化防止対策の強化に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄県の生物多様性を保全するため、重点対策種(ファイリマングース、グリーンアノール、タイワンスジオ、タイワンハブ、インドクジャク、ニホンイタチ等)の捕獲等を実施する。□ □ □	県	外来種の駆除及び侵入・定着防止対策の実施		
		防除実施重点対策種数(内訳)		
		15種(新規6種、継続9種、累計15種)	15種(継続15種)	15種(継続15種)
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2418 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 外来種対策事業口				予算事業名 外来種対策事業口		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	120,367	438,829	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	434,753
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
重点対策種に指定するタイワンハブ等の15種について、防除対策を実施した。また、ノヤギ及びヤエヤママドボタルを新たに重点対策種に指定した。				タイワンハブ等の防除対策を実施するほか、新たな外来種の脅威等が確認された場合は、必要に応じて、対策外来種リスト等の見直しを行う。		
予算事業名 マングース対策事業				予算事業名 マングース対策事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	97,074	138,279	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	138,569
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄島北部地域からのマングース完全排除及び同地域へのマングース流入リスク低減のため、捕獲を実施した。併せて、希少種の回復状況の把握を行った。				沖縄島北部地域からのマングース完全排除及び同地域へのマングース流入リスク低減のため、捕獲に取り組む。併せて、希少種の回復状況の把握を行う。		

活動指標名	防除実施重点対策種数 (内訳)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	8種	9種	15種	15種 (新規6種、継続9種、累計15種)	100.0%	順調	重点対策種15種について、トラップを用いた捕獲や除草、普及啓発等の防除対策を実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
目標値15種に対して実績値は15種であり、目標を達成したことから取組は順調に進捗している。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>確立した捕獲手法等を活用し、有識者の意見等を踏まえた重点対策種の捕獲等を引き続き実施する。 より効果的な捕獲やモニタリング手法について、随時検討し、有効性が認められれば採用する。</p>	<p>各外来種の防除計画等に基づき、捕獲等を実施した。 また、有識者で構成される検討委員会及び作業部会等での意見を踏まえて、効果的な捕獲手法の検討等を行った。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	定着している外来種については、対策を継続しない場合は生息数及び生息範囲を拡大させるおそれがある。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	沖縄島北部及び西表島が世界自然遺産に登録されたことから、生物多様性を保全するための外来種対策がより重要となっている。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	沖縄県外来種対策行動計画において定めた防除目標の達成に向けて、同計画に基づく取り組みを引き続き推進していく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	②希少野生動植物種や沖縄固有種の保護対策、外来生物対策の推進
			施策の小項目名	○外来種の駆除並びに侵入・定着防止、飼い犬・飼い猫の野生化防止対策の強化
主な取組	重点予防種のモニタリング実施		対応する成果指標	重点対策種等の排除・根絶地域数
施策の方向	・外来種の生息状況や外来種による被害状況等の調査を実施し、調査結果に基づく効果的な捕獲手法の実践等を通して、マングース等の外来種の駆除並びに侵入及び定着の防止を推進するとともに、ノイヌ・ノネコの捕獲と併せて、飼い犬・飼い猫の野生化防止対策の強化に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
沖縄県の生物多様性を保全するため、港湾や空港の周辺等においてモニタリング調査を実施し、重点予防種(ヒアリ等)の侵入・定着防止を図る。	県	重点予防種のモニタリング実施			
		重点予防種(ヒアリ)のモニタリング実施地点数(内訳)			
		8地点(継続8地点)	8地点(継続8地点)	8地点(継続8地点)	
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課		【 098-866-2418 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		外来種対策事業		予算事業名		外来種対策事業
主な財源	実施方法	R3年度	R4年度	R5年度		
		決算額	決算見込額	主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	120,367	438,829	一括交付金 (ソフト)	委託	434,753
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄県外来種対策行動計画等に基づき、重点予防種に指定するヒアリ等の侵入・定着を防ぐためのモニタリング等を実施した。				ヒアリ等のモニタリング等を実施するほか、新たな外来種の脅威等が確認された場合は、初期防除等を実施し、必要に応じて、リスト等の見直しを行う。		

活動指標名	重点予防種(ヒアリ)のモニタリング実施地点数(内訳)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	10地点	10地点	10地点	8地点(継続8地点)	100.0%	順調	県内の港湾や空港の周辺等において、ヒアリ等のモニタリング調査を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値8地点に対して実績値10地点であり、目標を達成したことから取組は順調に進捗している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
より効率的な捕獲やモニタリング手法について、随時検討し、有効性が認められれば採用する。	モニタリング調査による多量のサンプルの確認作業にかかる作業時間と費用を削減するため、機器分析を用いた調査方法の検討を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	未定着の外来種は、常に物流等による侵入・定着のリスクがある。
④ 社会・経済情勢の変化 (外部環境の変化)	沖縄島北部及び西表島が世界自然遺産に登録されたことから、生物多様性を保全するための外来種対策がより重要となっている。



4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	沖縄島北部及び西表島が世界自然遺産に登録されたことから、生物多様性を保全するための外来種対策がより重要となっている。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	②希少野生動植物種や沖縄固有種の保護対策、外来生物対策の推進
			施策の小項目名	○外来種の駆除並びに侵入・定着防止、飼い犬・飼い猫の野生化防止対策の強化
主な取組	飼い犬・飼い猫の野生化防止対策		対応する成果指標	重点対策種等の排除・根絶地域数
施策の方向	・外来種の生息状況や外来種による被害状況等の調査を実施し、調査結果に基づく効果的な捕獲手法の実践等を通して、マングース等の外来種の駆除並びに侵入及び定着の防止を推進するとともに、ノイヌ・ノネコの捕獲と併せて、飼い犬・飼い猫の野生化防止対策の強化に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
普及啓発イベントを実施し、動物遺棄の防止および動物愛護思想の涵養を図る。	県	飼い犬・飼い猫の野生化防止対策		
		普及啓発イベントの開催数(累計)		
		5回	5回(10回)	5回(15回)
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課 【 098-866-2418 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/event/30doubutuaigozugasenkoukekka.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 動物適正飼養推進事業費				予算事業名 動物適正飼養推進事業費		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	直接実施	16,505	21,299	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	直接実施	25,330
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県民に動物遺棄の防止を啓発するとともに、動物の適正飼養に関する知識やモラルの向上を図るため、動物の愛護および管理に関する普及啓発を行った。				県民に動物遺棄の防止を啓発するとともに、動物の適正飼養に関する知識やモラルの向上を図るため、動物の愛護および管理に関する普及啓発を行う。		

活動指標名	普及啓発イベントの開催数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	5回	5回	5回	5回	100.0%	順調	<ul style="list-style-type: none"> ・捨て犬・捨て猫防止キャンペーン ・動物愛護図画コンクール ・動物愛護街頭キャンペーン ・動物愛護の集い ・動物愛護週間関連行事 (宮古・八重山)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナウイルス感染症拡大防止の措置をとりながら予定どおりイベントを開催した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	場所、周知方法等を検討した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	SNSの普及により、県民の情報収集のしかたが変化しており、SNS等を活用した情報発信が求められている。	⑤ 情報発信等の強化・改善	沖縄県動物愛護管理センター譲渡推進棟HPを整備し、SNS等を活用した情報発信を行う。
⑦ その他(改善余地の検証等)	関心のある人しかイベント会場に来ないため、関心のない人への普及啓発の方法を検討する必要がある。	⑦ 取組の時期・対象の改善	普段から人通りの多い場所など、イベント開催場所や時期の検討、告知方法の検討等を行い、集客数を向上することで関心のない人への普及啓発を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	②希少野生動植物種や沖縄固有種の保護対策、外来生物対策の推進
			施策の小項目名	○密猟・盗採等の防止
主な取組	沖縄島北部における密猟・盗採等の防止		対応する成果指標	重点対策種等の排除・根絶地域数
施策の方向	・密猟・盗採や廃棄物の投棄など人為的な影響の抑制に向けて、自然保護地域における巡回・巡視の強化に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄島北部における希少種の密猟・盗採防止対策として、森林内パトロールや警察など関係機関と連携した合同パトロール等を実施する。	県	希少種の密猟・盗採防止対策の実施		
		森林内のパトロールの実施数(累計)		
		180回	180回(360回)	180回(540回)
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課 【 098-866-2418 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	希少種交通事故防止・密猟対策事業			予算事業名	希少種交通事故防止・密猟対策事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	34,789	91,898	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	73,354
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
森林内パトロールや警察など関係機関と連携した合同パトロール、ドローンを活用した森林内パトロールの試行、密猟対策に係る普及啓発等を実施した。				森林内パトロールや警察など関係機関と連携した合同パトロール、ドローンを活用した森林内パトロールの試行、林道夜間通行止め実証実験等を実施する。		

活動指標名	森林内のパトロールの実施数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	165回	242回	185回	180回	100.0%	順調	沖縄島北部国頭村の森林内において密猟対策パトロールを早朝・昼間・夜間の時間帯に計185回実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標回数以上の森林内パトロール185回を実施し、採集トラップや車両、人物などを92件確認し、目的等の聞き取り、チラシの配布、密猟防止の啓発等を行った。

令和4年度の取組改善案	反映状況
希少な甲虫類ヤンバルテナガコガネやオキナワマルバネクワガタなどの発生時期にはパトロール回数を増やすなど重点的な取組を行う。	希少な甲虫類ヤンバルテナガコガネやオキナワマルバネクワガタ等の発生時期である秋季にかけて早朝・日中・夜間ともパトロール回数、時間を増やし、重点的にパトロールを行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	森林内パトロールに加え、効果的な密猟防止対策に係る取組及び体制について検討する。	② 連携の強化・改善	森林内パトロールに加え、効果的な密猟防止対策に係る取組及び体制について検討するため、林道夜間通行止め実証実験を実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	②希少野生動植物種や沖縄固有種の保護対策、外来生物対策の推進
			施策の小項目名	○普及啓発活動
主な取組	外来種対策に係る普及啓発活動の実施		対応する成果指標	重点対策種等の排除・根絶地域数
施策の方向	<p>・本県の生物多様性に関する情報の一元化及び充実を図り、生物多様性に関するデータの利活用促進、研究及び普及に取り組むとともに、ホームページや各広報媒体を活用して、希少種の保護対策、外来種対策、密猟・盗採防止対策等の普及啓発活動を推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
多くの県民が沖縄の生物多様性の豊かさを認識し、外来種問題及び対策の必要性について理解を深め、県民一丸となった取組みにつなげるための普及啓発活動を実施する。	県	普及啓発活動の実施		
		企画展示、講演会等、普及啓発活動の実施数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2418 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		外来種対策事業		予算事業名		外来種対策事業
主な財源	実施方法	R3年度	R4年度	R5年度		
		決算額	決算見込額	主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	120,367	438,829	一括交付金 (ソフト)	委託	434,753
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>沖縄復帰50周年記念事業の一環として、「おきなわ外来種シンポジウム」を開催し、また、図書館等でのパネル展の開催や環境フェアへの出展を行った。</p>				<p>パネル展の開催や環境フェア、夏休み子ども自由研究イベントへの出展を行う。</p>		

活動指標名	企画展示、講演会等、普及啓発活動の実施数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1回	8回	8回	1回	100.0%	順調	シンポジウムを1回、パネル展の開催を6回、環境フェアへの出展を1回行った。このうち、シンポジウムの参加者は、会場参加が55人、オンラインが84人で、合計139人であった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値1回に対して実績値8回であり、目標を達成していることから、順調に進捗している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
多くの県民へ外来種対策の重要性を認識してもらうため、関心を持ってもらえる展示物の検討や外来種情報の発信等を行う専用のHPを立ち上げる。	市町村や博物館学芸員等と連携しての展示物の検討や外来種専用HPを立ち上げた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	多くの県民が外来種問題を認識し、外来種被害予防三原則「入れない・捨てない・拡げない」の行動を実践するための普及啓発を充実させる必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	多様なイベントの開催やより興味を引く展示物の作成、外来種専用ホームページの充実など、普及啓発の取組を引き続き行っていく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	②希少野生動植物種や沖縄固有種の保護対策、外来生物対策の推進
			施策の小項目名	○普及啓発活動
主な取組	生物多様性地域戦略事業（生物多様性おきなわ戦略）		対応する成果指標	重点対策種等の排除・根絶地域数
施策の方向	<p>・本県の生物多様性に関する情報の一元化及び充実を図り、生物多様性に関するデータの利活用促進、研究及び普及に取り組むとともに、ホームページや各広報媒体を活用して、希少種の保護対策、外来種対策、密猟・盗採防止対策等の普及啓発活動を推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>本県の生物多様性を保全・維持し、自然環境共生型社会の実現に向け、平成25年3月に策定した生物多様性おきなわ戦略について、現在の自然環境や社会状況等を踏まえた上で、有識者からなる委員会をもとに見直し第2次生物多様性おきなわ戦略(仮称)を策定する。</p>	県	生物多様性おきなわ戦略の改定、生物多様性の普及啓発		
		生物多様性おきなわ戦略の改定		
		生物多様性おきなわ戦略の改定作業着手	生物多様性おきなわ戦略の改定作業完了	生物多様性おきなわ戦略に基づく取組推進
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課 【 098-866-2418 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/bd_okinawa_senryaku.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	生物多様性地域戦略事業			予算事業名	生物多様性地域戦略事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託		9,130	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	12,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>前回策定時から現在までの社会状況等の変化に係る資料収集や、有識者からなる検討委員会の設置・議論をし、新戦略の素案を作成した。</p>				<p>検討委員会を引き続き設置・議論をし、新戦略(案)を作成後、パブリックコメントを実施し、自然環境保全審議会の審議を経て新戦略を策定する。</p>		

活動指標名	生物多様性おきなわ戦略の改定		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		-	-	<small>生物多様性おきなわ戦略の改定作業着手</small>	<small>生物多様性おきなわ戦略の改定作業着手</small>	75.0%	概ね順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

現行戦略の改訂作業については、2回の検討委員会を開催し新戦略の素案を作成する等、計画どおり進捗していることから順調であると判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況	令和4年度の取組改善案	反映状況
		本業務実施にあたっては、県内のみならず国内外の生物多様性に関する最新の情報や知見の収集、有識者からの意見聴取等を踏まえ、現行戦略の客観的な評価、進捗状況の確認、検討委員会の設置、運営など総合的な企画能力が求められるため、企画提案型プロポーザル方式による公募を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	有識者等からなる検討委員会において、現行戦略を改訂するにあたり評価と課題の抽出が重要であること。また、新戦略では数値目標を盛り込むこと等の意見があった。	⑧ その他	新戦略では、現行戦略の評価と新戦略に向けた課題を示すとともに、生物多様性国家戦略2023-2030の基本構造を参考とした状態目標と行動目標の設定を新たに行い、評価をする予定である。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	②希少野生動植物種や沖縄固有種の保護対策、外来生物対策の推進
			施策の小項目名	○普及啓発活動
主な取組	生物多様性地域戦略事業（生きものいっせい調査）		対応する成果指標	重点対策種等の排除・根絶地域数
施策の方向	・本県の生物多様性に関する情報の一元化及び充実を図り、生物多様性に関するデータの利活用促進、研究及び普及に取り組むとともに、ホームページや各広報媒体を活用して、希少種の保護対策、外来種対策、密猟・盗採防止対策等の普及啓発活動を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県教育庁と連携し、県内小学生を対象とした「生きものいっせい調査」や一般県民を対象とした「フォトコンテスト」を実施し生物多様性の普及啓発活動を図る。	県	生物多様性の普及啓発		
		生きものいっせい調査の実施数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2418 】	関連URL	https://www.okinawa-ikimono.com/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	生物多様性地域戦略事業			予算事業名	生物多様性地域戦略事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	4,402	4,430	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	4,609
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内小学校の4～6学年全員を対象とした「生きものいっせい調査」や一般県民を対象に「フォトコンテスト」を実施した。				県内小学校の4～6学年全員を対象とした「生きものいっせい調査」や一般県民を対象に「フォトコンテスト」を実施する。		

活動指標名	生きものいっせい調査の実施数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		1回	1回	1回	1回	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「生きものいっせい調査」を県教育庁と連携し実施することで、小学生が自然に親しむきっかけとなっており、また、「フォトコンテスト」を実施することで、広く県民に対して生物多様性の普及啓発を図ることができた。「生きものいっせい調査」について、予定通りの回数を実施できたことから順調とした。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
「生きものいっせい調査」および「フォトコンテスト」への参加数をより増やせるよう、調査対象種を検討する。	小学生にとっての身近さや写真の華やかさを考慮して調査対象種を決定した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	「生きものいっせい調査」を県教育庁と連携し実施しているが、現場の教員の負担が大きくなるよう方法を検討する必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善 (合理化・効率化)	「生きものいっせい調査」調査票について各教育委員会でとりまとめて提出してもらっているが、郵送による提出などを検討し、教員の負担軽減を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	③アジアの自然史科学の拠点「国立沖縄自然史博物館」の設置促進
			施策の小項目名	○国立沖縄自然史博物館の設置促進
主な取組	国立沖縄自然史博物館誘致に係るイベント開催		対応する成果指標	国立沖縄自然史博物館の誘致活動の認知度
施策の方向	<p>・「国立沖縄自然史博物館」については、東アジア、東南アジア全体の自然史科学を支える研究及び人材育成の拠点となるばかりでなく、本県の生物多様性の豊かさやその重要性をより多くの人に発信し、自然環境の保全や沖縄観光の魅力の強化につながることや、県内の子どもたちの自然科学に対する関心を高め学力向上にも資することから、今後あらゆる機会を捉えて県内誘致に努めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄県に国立自然史博物館を誘致するため、国への要請、シンポジウムや関係団体等への説明会など、機運醸成に向けた取組を実施する。	県	認知度の向上及び機運醸成を図るためのシンポジウム・企画展等周知啓発イベントの開催		
		シンポジウム等周知啓発イベントの開催数(累計)		
		5回	5回(10回)	5回(15回)
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課 【 098-866-2418 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/shizen/shizenshih-akubutsukan.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	国立自然史博物館誘致推進事業			予算事業名	国立自然史博物館誘致推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	4,935	27,268	県単等	委託	30,571
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
一般県民向けシンポジウムを11月30日に、子ども向けシンポジウムを11月12日に実施した。また、県内5圏域で企画展を実施した。				東京でのシンポジウム、県内でのシンポジウム、県内5圏域での企画展を実施する。		

活動指標名	シンポジウム等周知啓発イベントの開催数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1回	2回	7回	5回	100.0%	順調	一般県民向けシンポジウムを11月30日に、子ども向けシンポジウムを11月12日に実施した。また、県内5圏域で企画展を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和4年度は、シンポジウム(2回)、企画展(5回)を合計7回開催し、目標値を上回った。一般県民向けシンポジウムには約550名の参加があるなど、機運醸成が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
・県主催のシンポジウム等の開催を継続し、認知度の向上および機運醸成を図る。	・県主催のシンポジウム、企画展を拡充して開催し、機運醸成が図られた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	普及啓発の取組を継続し、認知度の向上および機運醸成を図り、賛同者(団体等)を広げていく必要がある。



4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	県主催のシンポジウム等の対象を県外にも広げて開催するなど、継続して取り組み、認知度の向上および機運醸成を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	③アジアの自然史科学の拠点「国立沖縄自然史博物館」の設置促進
			施策の小項目名	○国立沖縄自然史博物館の設置促進
主な取組	国への要請		対応する成果指標	国立沖縄自然史博物館の誘致活動の認知度
施策の方向	<p>・「国立沖縄自然史博物館」については、東アジア、東南アジア全体の自然史科学を支える研究及び人材育成の拠点となるばかりでなく、本県の生物多様性の豊かさやその重要性をより多くの人に発信し、自然環境の保全や沖縄観光の魅力の強化につながることや、県内の子どもたちの自然科学に対する関心を高め学力向上にも資することから、今後あらゆる機会を捉えて県内誘致に努めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄県に国立自然史博物館を誘致するため、国への要請、シンポジウムや関係団体等への説明会など、機運醸成に向けた取組を実施する。	県	国立沖縄自然史博物館の設立に係る国への要請		
		国への要請回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2418 】	関連URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/shizen/shizenshih-akubutsukan.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	国立自然史博物館誘致推進事業			予算事業名	国立自然史博物館誘致推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	4,935	27,268	県単等	委託	30,571
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和5年1月に沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長へ要請した。				国に対しあらゆる機会をとらえて要請する。		

活動指標名	国への要請回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1回	0回	1回	1回	100.0%	順調	令和5年1月に知事が沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長へ要請した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和4年度は国への要請を一回行い、目標を達成した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
・国等への働きかけや意見交換等を実施する。	・沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長へ要請した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	・ 誘致実現に向けて、国等への働きかけや意見交換等を行う必要がある。	② 連携の強化・改善	国等に対し、引き続きあらゆる機会をとらえて働きかけを行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	自然環境・生物多様性の保全・継承	施策	③アジアの自然史科学の拠点「国立沖縄自然史博物館」の設置促進
			施策の小項目名	○国立沖縄自然史博物館の設置促進
主な取組	経済団体等への説明会・講演会の開催		対応する成果指標	国立沖縄自然史博物館の誘致活動の認知度
施策の方向	<p>・「国立沖縄自然史博物館」については、東アジア、東南アジア全体の自然史科学を支える研究及び人材育成の拠点となるばかりでなく、本県の生物多様性の豊かさやその重要性をより多くの人に発信し、自然環境の保全や沖縄観光の魅力の強化につながることや、県内の子どもたちの自然科学に対する関心を高め学力向上にも資することから、今後あらゆる機会を捉えて県内誘致に努めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄県に国立自然史博物館を誘致するため、国への要請、シンポジウムや関係団体等への説明会など、機運醸成に向けた取組を実施する。	県	認知度の向上及び機運醸成を図るための経済団体等に対する説明会・講演会の開催		
		説明会等の開催数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2418 】	関連URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/shizen/shizenshih-akubutsukan.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	国立自然史博物館誘致推進事業			予算事業名	国立自然史博物館誘致推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	4,935	27,268	県単等	委託	30,571
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和4年6月に北部市町村会向け、10月に県議会議員向け説明会を開催した。				市町村や経済団体等への説明会等を実施する。		

活動指標名	説明会等の開催数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	--	--	2回	1回	100.0%	順調	令和4年6月に北部市町村会向け、10月に県議会議員向け説明会を開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和4年度は説明会を2回開催し、目標値を上回った。市町村や県議会などの関係者において、理解が深まり、機運醸成が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
有識者と連携して関係団体等への説明会を開催する等、認知度の向上および機運醸成を図る。	学識経験者で構成される一般社団法人国立沖縄自然史博物館設立準備委員会と連携し、北部市町村会や県議会へ説明会を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	・普及啓発の取組を継続し、認知度の向上および機運醸成を図り、賛同者(団体等)を広げていく必要がある。	② 連携の強化・改善	有識者と連携して関係団体等への説明会等を行い、認知度の向上および機運醸成を図る。